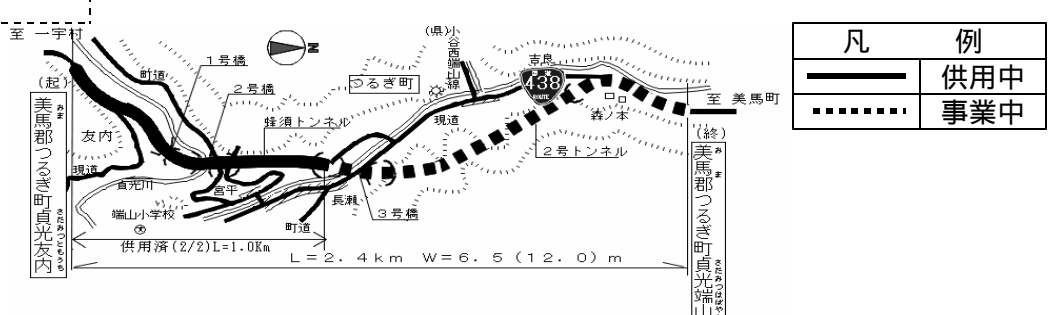


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道防災課
担当課長名：鈴木 克宗

| | | |
|---|--|--|
| 事業名：一般国道438号宮平バイパス | 事業区分：一般国道 | 事業主体：徳島県 |
| 起終点：自：徳島県美馬郡つるぎ町貞光友内 至：徳島県美馬郡つるぎ町貞光端山 | | 延長：2.4 km |
| 事業概要 一般国道438号は、香川県高松市から徳島県海南町に至る延長174 kmの幹線道路であり、徳島県中央部を南北に結び沿線地域の生命線道路である。宮平バイパスは、幅員狭小、線形不良の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした延長2.36 kmの2車線バイパス事業である。 | | |
| H7年度事業化 | H 年度都市計画決定 (H 年度変更) | H 8年度用地着手 |
| | | H 9年度工事着手 |
| 全体事業費 | 約68億円 | 事業進捗率 |
| | | 61% |
| | | 供用済延長 |
| | | 1.0 km |
| 計画交通量 | 2,000台/日 | |
| 費用対効果分析結果 | B/C (事業全体) 2.1 | 総費用 (残事業/事業全体) 23/71億円 |
| | (残事業) 1.9 | (事業費: 21 / 68億円 維持管理費: 2 / 3億円) |
| | | 総便益 (残事業/事業全体) 43/151億円 |
| | | (走行時間短縮便益: 42/146億円 走行費用減少便益: 1/ 4億円 交通事故減少便益: 0/ 0億円) |
| | | 基準年: 平成16年 |
| 感度分析の結果 | 交通量変動: B/C=2.35 (交通量+10%) B/C=1.93 (交通量-10%) 事業費変動: B/C=1.97 (事業費+10%) B/C=2.31 (事業費-10%) | |
| 事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する。） ・災害への備え（地域防災計画において緊急輸送路として位置づけられている。） ・個性ある地域の形成（主要な観光地である剣山国立公園へのアクセス向上が期待される。） 他4項目に該当 | | |
| 関係する地方公共団体等の意見 一般国道438号は、剣山観光へのアクセス道路として期待されており、国道438号(美馬・剣山間)整備促進期成同盟会から早期整備を求める要望(平成17年2月21日)を受けている。 | | |
| 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成17年3月に沿線の貞光町、半田町、一字村が合併して「つるぎ町」として再出発し、新町の安全で活力あるまちづくりを推進する観点から本路線の重要性は高まっている。 | | |
| 事業の進捗状況、残事業の内容等 平成15年12月に蜂須トンネルを含む1.0 kmを部分供用している。 | | |
| 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 起点側未供用区間の用地取得・本工事を促進し、早期の全線完成を図る。 | | |
| 施設の構造や工法の変更等 現道の利用実態を踏まえ、未供用区間について歩道幅員を縮小してコスト縮減を図っている。 | | |
| 対応方針 | 継続 | |
| 対応方針決定の理由 | 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。 | |
| 事業概要図 <div style="display: flex; align-items: center;">  </div> | | |

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。